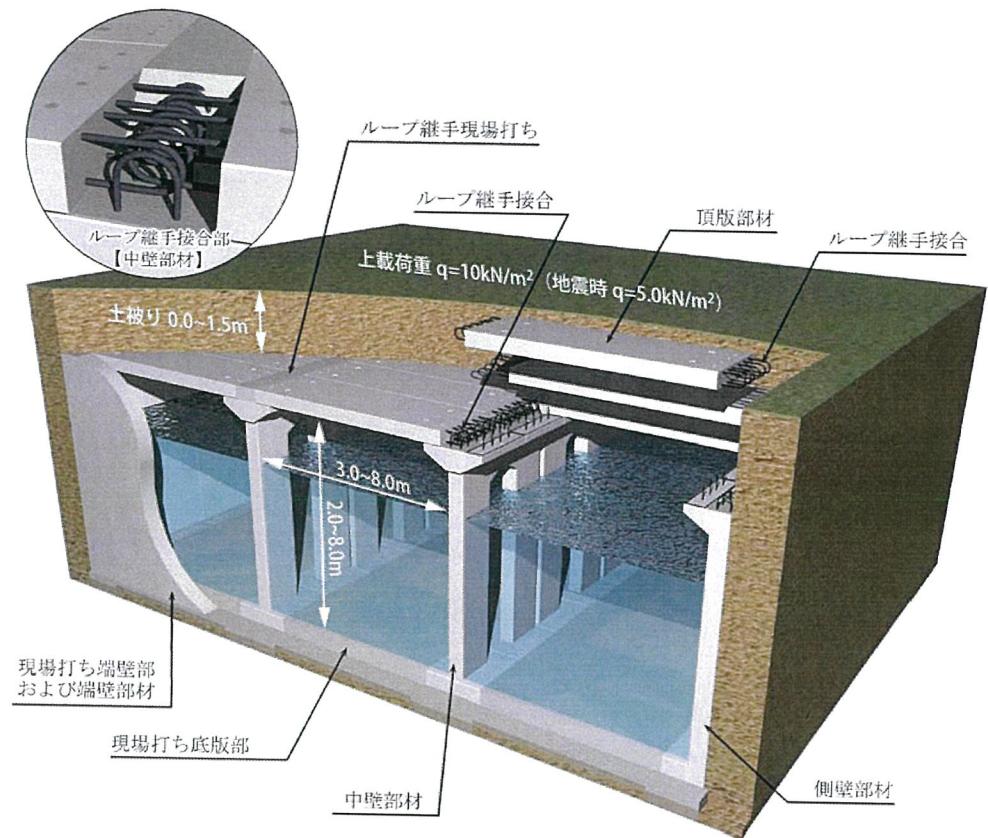


技術概要書（様式）

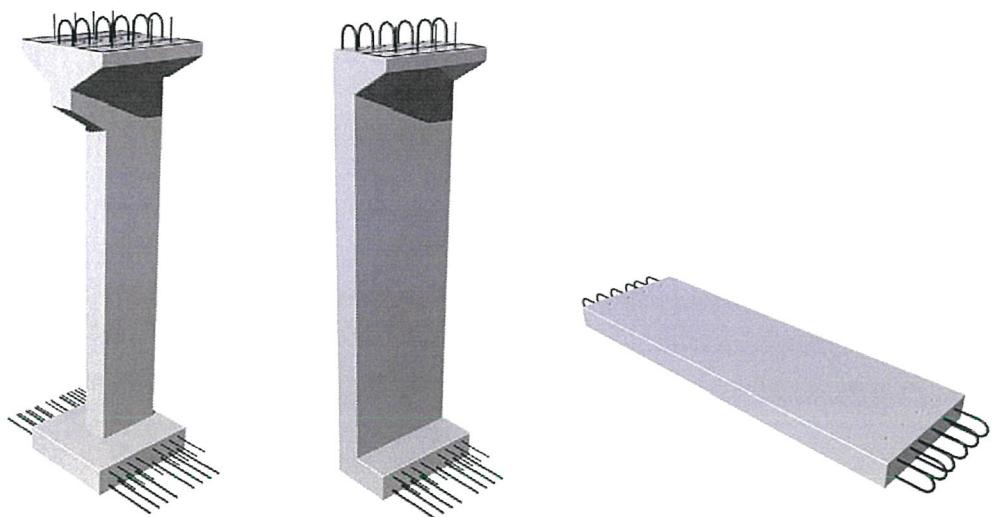
※別紙2

技術分類	<input checked="" type="checkbox"/> 安全・防災 <input type="checkbox"/> 維持管理 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> ICT <input type="checkbox"/> 品質					(該当する分類に○を付けてください)
技術名称	ループ継手式プレキャストコンクリート雨水地下貯留施設		担当部署	(株)ヤマウ 営業推進部		
NETIS登録番号	—		担当者	西田 薫		
社名等	ためる～ぶ		電話番号	092-872-3301		
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>近年の市街化に伴い雨水流出率が増大する傾向にあり、既存下水処理施設の流下能力不足による浸水被害が発生している。また、新規開発地域等では、放流先である下流側管きよの流下能力に応じて放流量が抑制される場合がある。</p> <p>これらの対策の一つとして「雨水流出抑制」があげられる。雨水流出抑制の方法には雨水貯留型と雨水浸透型があるが「ためる～ぶ」は雨水貯留式として開発したものである。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>プレキャストコンクリート部材同じの連結に「ループ継手」による剛結合を採用することにより、施設全体が強固に一体化され、構造の安定性に優れた多径間雨水貯留施設となっている。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>主としてプレキャスト部材を用いることで、施工性や耐久性の向上、施工期間の短縮・省力化が計られるとともに、空間貯留型施設の為維持管理機能に優れた効果がある。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>内空高： 2.0m～8.0m 内空幅： 3.0m～8.0m 土被り： 0.0m～1.5m * 内空高5.5m以上の場合は0.5m以下 上載荷重： 等分布荷重 $q=10\text{kN}/\text{m}^2$ 以下(地震時$q=5\text{kN}/\text{m}^2$ 以下)</p> <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関 〇 件 (九州 〇 件、九州以外 〇 件) 自治体 〇 件 (九州 〇 件、九州以外 〇 件) 民 間 〇 件 (九州 〇 件、九州以外 〇 件)</p>					

6. 写真・図・表



「ためる～ぷ」概要図



プレキャスト部材概要図